

授業科目

栄養学II

担当教員名 鈴木 一恵	対象学年	2	対象学科	健栄
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○		

授業の概要

人が誕生してから一生を終えるまで、すなわち妊娠や分娩、成長、加齢などに伴う体の構造や機能の変化、栄養状態の変化などについて理解し、さらに対象者の栄養状態や心身機能に応じた栄養管理（栄養ケア・マネジメント）の基本的な考え方を習得する。また、食事摂取基準策定の考え方や科学的根拠を理解し、健康維持・増進および疾病予防のために、それに基づいた食事改善の計画と実施、健康に影響を及ぼすリスクの管理の基本的な考え方や方法を習得する。

授業の目的

授業を通して、ライフステージごとに、身体および精神の両面についてその特性を十分理解し、その上で各期の望ましいエネルギーや栄養素摂取量を実際の食生活に展開できるようにするために、基本的な考え方や方法を習得する。

学習目標

1. 栄養マネジメント（栄養管理）の概要、栄養アセスメントに必要な基礎的知識を習得する。
2. 日本人の食事摂取基準策定の考え方や科学的根拠について理解する。
3. 妊娠、成長、発達、加齢など、生体の生理的变化等に伴う栄養状態の変化について理解する。
4. 各ライフステージにわたる特性を理解し、身体状況や栄養状態の評価ができるようになる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	栄養マネジメント（栄養管理）の概要、栄養アセスメントの方法	講義	
2	日本人の食事摂取基準：目的、基本的考え方、策定の考え方等	講義	
3	日本人の食事摂取基準：活用の基礎理論等	講義	
4	成長、発達、加齢の概念とそれに伴う身体的・精神的変化と栄養ケア	講義	
5	妊娠期：妊娠の成立と身体的な変化、栄養アセスメント、妊娠期の栄養ケア	講義	
6	授乳期：授乳女性の生理的特徴、栄養アセスメント、授乳期の栄養ケア	講義	
7	新生児期・乳児期：新生児期・乳児期の生理的特徴	講義	
8	新生児期・乳児期：新生児期・乳児期の栄養アセスメント	講義	
9	新生児期・乳児期：新生児期・乳児の栄養補給法、栄養ケア、離乳食の進め方	講義	
10	幼児期：幼児の成長・発達、栄養状態の変化、栄養アセスメント	講義	
11	幼児期：幼児期の栄養と病態・疾患、生活習慣、栄養ケア	講義	
12	学童期：学童期の成長・発達、栄養状態の変化、栄養アセスメント	講義	
13	学童期：学童期の栄養と病態・疾患、生活習慣、栄養ケア	講義	
14	思春期：思春期の成長・発達、栄養状態の変化、栄養アセスメント	講義	
15	思春期：思春期の栄養と病態・疾患、生活習慣、栄養ケア、全体のまとめ	講義	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	栄養科学イラストレイテッド 応用栄養学	栢下 淳、上西一弘	羊土社	2014年	2,800円+税	最新版
	日本人の食事摂取基準（2015年版）	厚生労働省	第一出版	2014年	2,700円+税	最新版
参考書						
その他の資料						

評価方法

筆記試験、積極的参加の程度

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

研究室 連絡先 025-257-4421（内線5204）